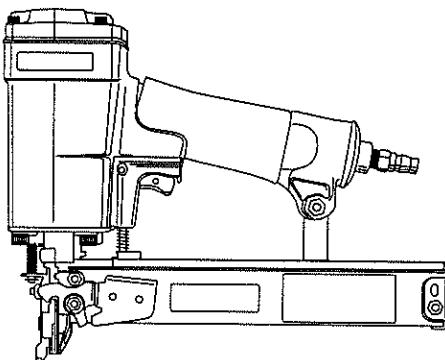


Makita

取扱説明書

エア波釘打 モデル DCF100



このたびはエア波釘打をお買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いください
ようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



本機の取扱いにあたって、エア波釘打を能率よく、安全にお使いいただくため、取扱説明書は最後までお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法などについて充分理解の上、正しく御使用くださるようお願ひいたします。

△ 警告

この表示は記載事項に従わないと人身事故につながる可能性がある場合を示します。

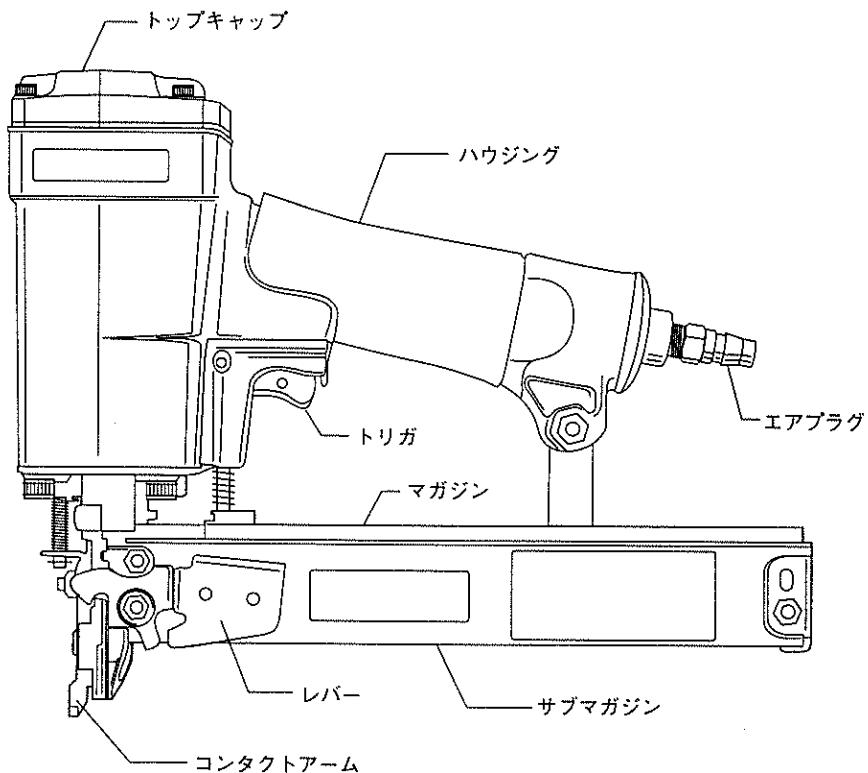
△ 警 告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
 - 必ずセーフティゴーグル(保護メガネ)を着用して使用する。
 - 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
 - 使用しない時、また、調整・修理・連結釘装填の時は必ずエアホースをはずす。
 - 射出口を絶対に人体に向けない。
 - 移動する際は必ずエアホースをはずす。
 - エアホースを接続する際は絶対にトリガ（引金）に触れない。
　　コンタクトアームに触れない。コンタクトアームを押さない。
 - エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
 - 指発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
 - 異常を感じたら絶対に使用しない。
-
- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管して下さい。
 - 本機の仕様は性能向上のため、予告なしに変更することがあります。

目 次

| | |
|------------------|----|
| 各部の名称 | 2 |
| 仕様 | 3 |
| 使用ステープルの種類 | 4 |
| 使用前の準備 | 5 |
| エア波釘打を安全に使用するために | 6 |
| 使用法 | 13 |
| 保守・点検 | 14 |

各部の名称



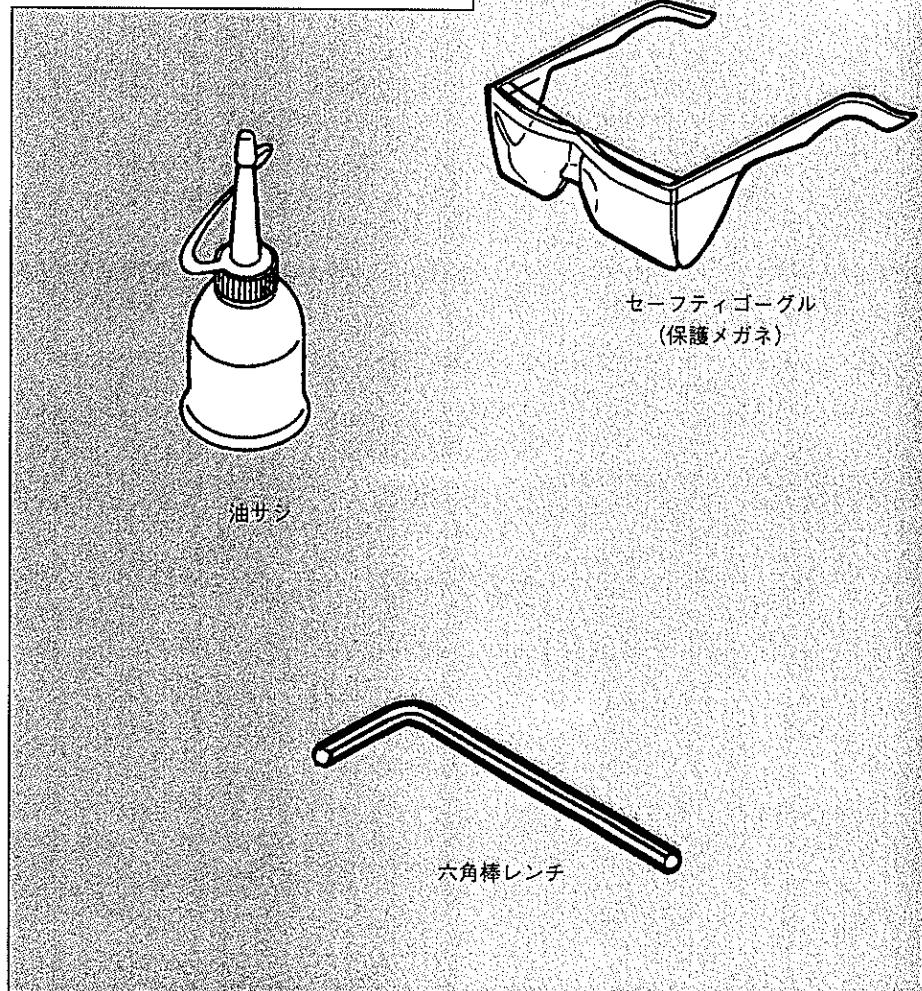
製品仕様

| | |
|-------------|--|
| サイズ (H×L×W) | 248×308×77 mm |
| 質量 | 3.0 kg |
| 使用ステープル | 波釘9、12 mm |
| 装填本数 | 80本 (40本×2連) |
| 使用空気圧 | 0.54~0.82MPa (5.5~8.5kgf/cm ²) |

3

標準付属品

- ①セーフティゴーグル(保護メガネ) 1個
- ②六角棒レンチ 1/4 1本
 3/16 1本
- 5/32 1本
- 9/64 1本
- ③油サシ 1個



エア波釘打を安全に作業するために

⚠ 警 告

エアホース

内径6.5 mm以上のエアホースを30m以内でお使いください。

給油

付属の油サシにて作業の前後にエアプラグより、ターピン油を2、3滴(0.1cc)注入してください。給油を怠るとエア波釘打の寿命が短くなるばかりか、故障や事故の原因になりますので、必ず行ってください。

空気圧

空気圧の強弱はステープルの長さ、ステープルが打たれる対象物の木質によって異なります。このエア波釘打の使用圧力範囲は手元レギュレータゲージ圧で0.54MPa～0.83MPa(5.5kgf/cm²～8.5kgf/cm²)です。

対象物の木質により、この範囲内に調整してお使いください。

エア波釘打を安全に使用するための

⚠ 警 告

①作業関係者以外近づけない。

作業する場合には、作業者以外の人を近づけないでください。

②作業環境に応じた防具を着用のこと。

作業環境に応じて、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



③正しい服装で安定した姿勢で作業をする。

作業に適した服装で作業をしてください。又、無理な姿勢での作業は危険です。常に足場をかため、身体の安全を保って作業をしてください。

④作業に入る前に必ず始業点検を行う。

各部のナット、スクリューボルト、ストップリング等の締め金が緩んでいないか、その他部品がはずれたり傷んだりしていないかを点検してください。いずれの部品も、それぞれ大切な役目を果たしております。はずれたり、傷んでいると故障したり、思わぬ事故を起こしますので、充分注意して点検してください。

⑤給油及び圧力点検をする。

指定の圧力より低いと、エア波釘打の機能を果たしません。又指定の圧力を越えるとエア波釘打の寿命を早めたり、危険が生じます。

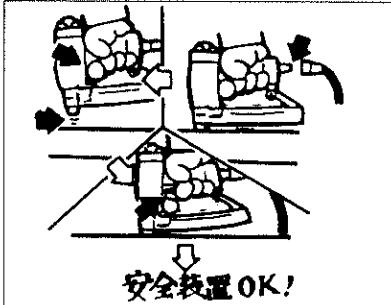
給油は、作業の前後にエア波釘打のエアプラグより、付属の油サシでタービン油(JIS2種 ISOVG32)を2、3滴(0.1cc)注入してください。

⚠ 警告

⑥安全装置（コンタクトアーム）が適確に作動するか点検し、作動しない場合は、使用しない。

下記の現象が発生した場合は、使用しないで下さい。

- トリガ（引金）を引いただけで作動する。
- 安全装置を押し付けただけで作動する。



⑦必ず当社指定のステープルを使用する。

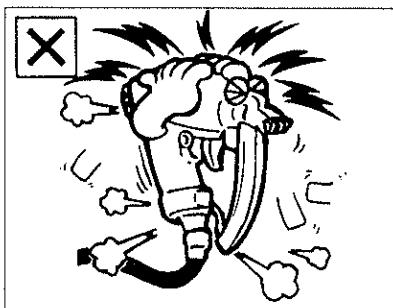
当社以外のステープルを使用しますと、故障や事故の原因になりますから、必ず指定のステープルを御使用ください。尚、保管状態の悪いものは、使わないようにしてください。



⑧エアもれや異常音が無いかを確認する。

エアホースを接続したら、まず各部にエアもれが無いかを確認してください。

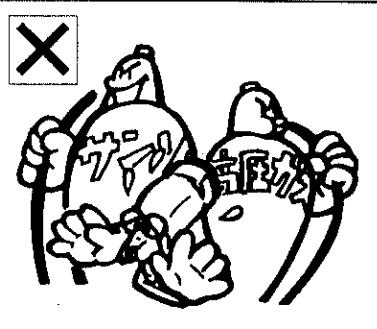
次にステープルを打込んでください。ステープルが曲がったり、異常音を発生したりしないかを確認してください。エアもれのある機械や、その他異常のある機械は絶対に使わないでください。



⚠ 警告

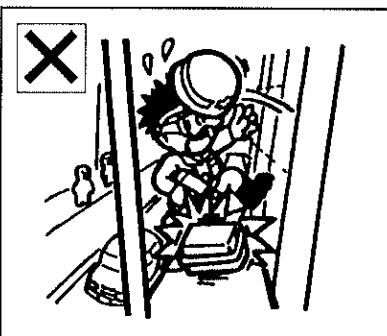
⑨動力源は必ず圧縮空気を使用する。

圧縮空気を動力源として使用し、酸素ボンベや高圧ガスボンベは絶対に使用してはいけません。使用するとエア波釘打が爆発する恐れがあります。



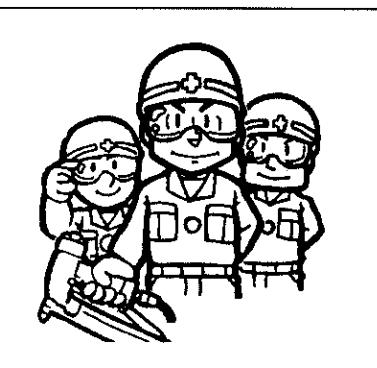
⑩作業現場は整理、整頓をして特に足元の整理に注意を払う。

屋外作業で足場を使っての高所作業では、足場の安全性を確認してから作業を行ってください。又、作業をする場所の照明は充分に明るくしておいてください。



⑪作業中は常にセーフティゴーグル(保護メガネ)を着用する。

粉塵や、万一打ち損じたステープルがはね返り、目に入ると危険ですから、作業をする本人だけでなく周囲で作業をしている人も、必ずセーフティゴーグル(保護メガネ)を着用してください。



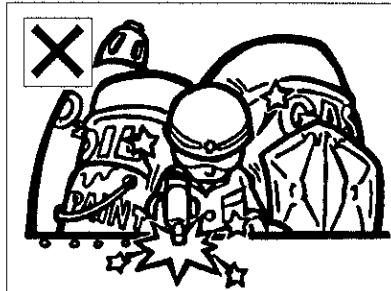
⑫防音保護具を着用する。

作業をする場合、排気音や排気工アから耳を守るために作業環境に応じて防音保護具(耳栓等)を着用してください。

⚠ 警 告

⑩ 危険物の近くでは作業をしない。

ステーブル打込み時に火花が飛散することがありますので、ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス類、接着剤等、引火あるいは爆発の恐れがある物質の近くでは、絶対に作業をしてはいけません。



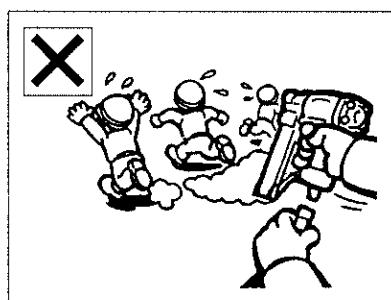
⑪ 射出口には、絶対に手を近づけないこと。また材料を手で支える時は充分注意する。

やむを得ず材料を手で支えなければならない時は、射出口付近から離し、かつ充分安全な場所を支えるようにすること。



⑫ エアホース接続時は必ず下記を厳守する。

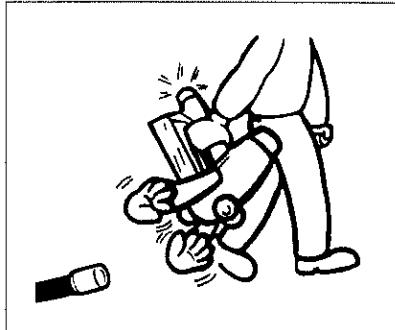
- トリガ（引金）に触れない。
- コンタクトアーム（安全装置）に触れない。
- コンタクトアーム（安全装置）を押し付けない。
- 射出口を人体に向けない。



⚠ 警 告

⑯ 移動する際は必ずエアホースをはずす。

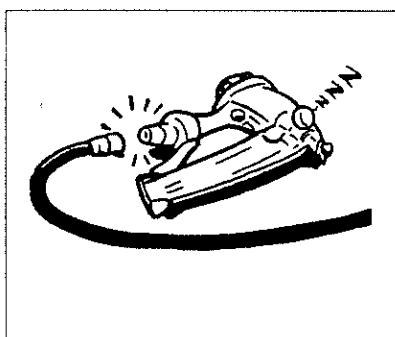
エアホースを接続した状態でトリガ（引金）を引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をすると、誤って発射することがあり、思いがけない事故につながりますので移動する際はトリガをロックしエアホースをはずしてください。



⑰ エア波釘打を使用しない時は必ずエアホースをはずす。

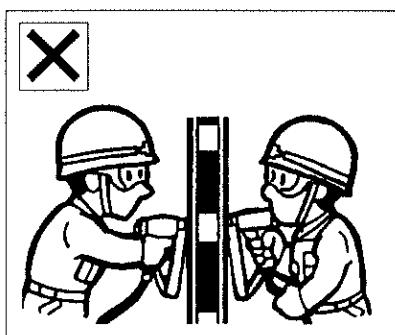
⑯ 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中のステープル装填、調整及びステープル詰まりを除去するとき、誤ってステープルを発射すると危険ですので、エアホースをはずしてください。



⑯ 射出口を向け合っての作業はしない。

相手の姿が見える場合はもちろん、見えない場合でも両側から向かい合っての同時打ちは大変危険です。



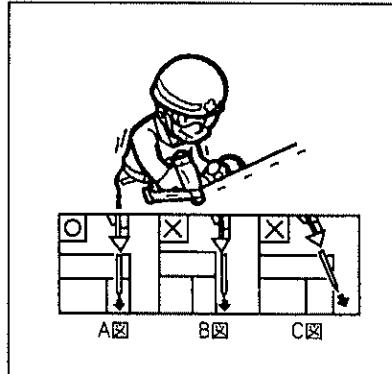
！警告

①縁を打つ場合の位置、方向に注意する。

A図のように対象物に対して、垂直に押し付けられた状態を確認し、打ち込んでください。

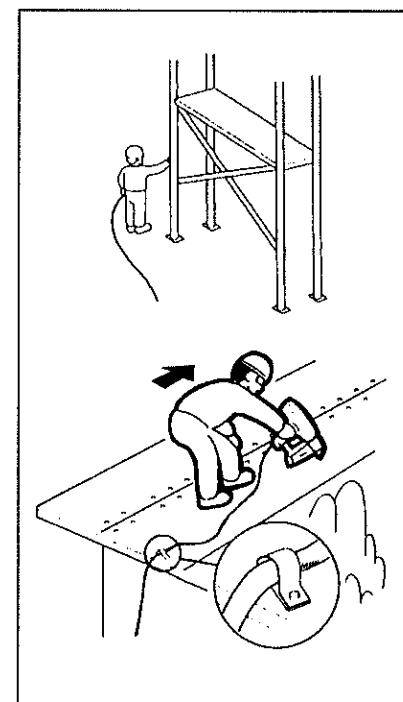
②機体の反動に注意する。

作業中はエア波釘打の上方に顔などを近づけないようにする。一度打ったステープル、堅い木や節などを打つと機体が強く反動しますので、注意してください。



③作業中、エア波釘打に異常が発見されたら、ただちに使用を中止する。

エアもれ、異常音、打込み不良、その他通常の時と違った現象が確認されたら、ただちに使用を中止し、点検・修理を受けてください。



④高所で作業をする場合、次のことを注意する。

- 足場を使って作業をする場合、足場の安全性を充分確認して、作業をしてください。
- エアホースは作業をする場所の近くに固定してください。これは、エアホースが引掛かったり、引っ張られたりすると反動で身体の安定を欠くことになり危険です。
- 屋根などの傾斜面での釘打作業は、下から上へ向かって前進しながら行ってください。後退しながら作業をすると、足を踏みはずす恐れがあります。

⑤エア波釘打の改造は厳禁。

⚠ 警 告

⑥直射日光はさける。

エア波釘打、エアコンプレッサ、エアホースなどを、長時間直射日光のあたる場所に放置しないでください。

⑦使用後の注意事項

使用した後は、エアホースをはずし、ステーブルを抜きとり、エアプラグからターピン油（JIS2種ISOVG32）を2、3滴（0.1cc）注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

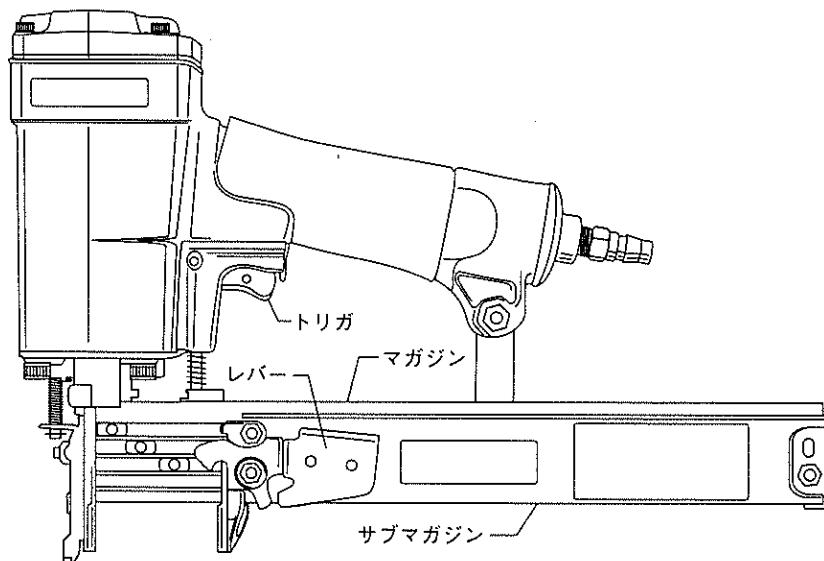
△警告

ステークル装填時はエアホースを必ずはずす。

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

ステークル装填方法

片手でエア波釘打を持ち、もう一方の手でレバーを押しサブマガジンを後へ引きます。エア波釘打を横に向け、図のようにステークルをマガジンの中に入れて、サブマガジンを押し戻し、ロックします。マガジン内部のステークルの有無はマガジン横側の覗き窓で確認出来ます。又、ステークル装填の時は絶対に引金(トリガ)に指を掛けないでください。



△警告

ステークルづまりの際エアホースを必ずはずす。

ステークルづまりの取り方

ステークルづまりがおこったら必ずエアホースをはずして下さい。次にマガジン側に残っているステークルを取り除いて下さい。その後、詰ったステークルを除去してください。

エアプラグキャップ

エアホースを取り外した時には、エアプラグの根元に取付けられているエアプラグキャップをはめ込んで、砂やほこり、雨水等がエア波釘打の内部に入らないようにしてください。

使用後の清掃

使用した後は、ホースをはずし、ステークルを抜きとり、エアプラグからタービン油（JIS 2種ISOVG32）を2、3滴（0.1cc）注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

エアコンプレッサ等の水抜き

作業が終ったらエアコンプレッサの電源を切り、ドレンコックを開いて、タンク内の残圧によって溜った水を抜いてください。特に湿気の多い季節は想像以上に水が溜ります。作業後は毎日、水抜きを行ってください。

残りステークルの保管

残ったステークルはステークルケースに納め、安全で常温の乾燥した場所に保管し、ステークルケースの上に他の品物を乗せないようにしてください。



△警告

この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

メモ

メモ

メモ

全国に拡がるアフターサービス網

・お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

| 事業所名 | 電話番号 | 事業所名 | 電話番号 | 事業所名 | 電話番号 |
|---------|------------------|---------|------------------|----------------|------------------|
| 札幌支店 | (011) (783) 8141 | 足立営業所 | (03) (3899) 5855 | 東大阪営業所 | (06) (6746) 7531 |
| 札幌営業所 | (011) (783) 8141 | 大田営業所 | (03) (3763) 7553 | 関西物流センター | (0725) (46) 6715 |
| 旭川営業所 | (0166) (29) 0960 | 江戸川営業所 | (03) (3653) 5171 | 南大阪営業所 | (0725) (46) 6611 |
| 釧路営業所 | (0154) (37) 4849 | 多摩営業所 | (042) (384) 8411 | 奈良営業所 | (0742) (61) 6484 |
| 函館営業所 | (0138) (49) 9273 | 立川営業所 | (042) (542) 1201 | 福原営業所 | (0744) (22) 2061 |
| 苫小牧営業所 | (0144) (68) 2100 | 横浜支店 | (045) (472) 4711 | 和歌山営業所 | (073) (471) 4585 |
| 蒂広営業所 | (0155) (36) 3833 | 横浜営業所 | (045) (472) 4711 | 田辺営業所 | (0739) (25) 1027 |
| 北見営業所 | (0157) (26) 9011 | 川崎営業所 | (044) (811) 6167 | 沖縄営業所 | (098) (874) 1222 |
| 仙台支店 | (022) (284) 3201 | 平塚営業所 | (0463) (54) 3914 | 兵庫支店 | (0794) (82) 7411 |
| 仙台営業所 | (022) (284) 3201 | 相模原営業所 | (042) (757) 2501 | 三木営業所 | (0794) (82) 7411 |
| 古川営業所 | (0229) (24) 0698 | 湘南営業所 | (0466) (87) 4001 | 尼崎営業所 | (06) (6437) 3660 |
| 青森営業所 | (017) (764) 4466 | 静岡支店 | (054) (281) 1555 | 神戸営業所 | (078) (672) 6121 |
| 八戸営業所 | (0178) (43) 3321 | 静岡営業所 | (054) (281) 1555 | 姫路営業所 | (0792) (81) 0204 |
| 盛岡営業所 | (019) (635) 6221 | 沼津営業所 | (055) (923) 7811 | 広島支店 | (082) (293) 2231 |
| 水沢営業所 | (0197) (22) 5101 | 浜松営業所 | (053) (464) 3016 | 広島営業所 | (082) (293) 2231 |
| 郡山営業所 | (024) (932) 0218 | 甲府営業所 | (055) (276) 7212 | 福山営業所 | (084) (923) 0960 |
| いわき営業所 | (0246) (23) 6061 | 金沢支店 | (076) (249) 5701 | 三原営業所 | (0848) (64) 4850 |
| 新潟支店 | (025) (247) 5356 | 金沢営業所 | (076) (249) 5701 | 岡山営業所 | (086) (243) 4723 |
| 新潟営業所 | (025) (247) 5356 | 七尾営業所 | (0767) (52) 3533 | 宇部営業所 | (0836) (31) 4345 |
| 長岡営業所 | (0258) (30) 5530 | 富山営業所 | (076) (451) 6260 | 徳山営業所 | (0834) (21) 5583 |
| 山形営業所 | (023) (643) 5225 | 高岡営業所 | (0766) (21) 3177 | 鳥取営業所 | (0857) (28) 5761 |
| 酒田営業所 | (0234) (26) 3551 | 福井営業所 | (0776) (35) 1911 | 松江営業所 | (0852) (21) 0538 |
| 秋田営業所 | (018) (863) 5205 | 岐阜支店 | (058) (274) 1315 | 高松支店 | (087) (841) 2201 |
| 宇都宮支店 | (028) (634) 5295 | 岐阜営業所 | (058) (274) 1315 | 高松営業所 | (087) (841) 2201 |
| 宇都宮営業所 | (028) (634) 5295 | 多治見営業所 | (0572) (22) 4921 | 徳島営業所 | (088) (626) 0555 |
| 小山営業所 | (0285) (25) 5559 | 松本営業所 | (0263) (25) 4696 | 松山営業所 | (089) (951) 7666 |
| 水戸営業所 | (029) (248) 2033 | 長野営業所 | (026) (225) 1022 | 宇和島営業所 | (0895) (22) 3785 |
| 土浦営業所 | (029) (821) 6086 | 上田営業所 | (0268) (22) 6362 | 高知営業所 | (088) (884) 7811 |
| 関物流センター | (048) (771) 3451 | 飯田営業所 | (0265) (24) 1636 | 福岡支店 | (092) (411) 9201 |
| 埼玉支店 | (048) (771) 3462 | 名古屋支店 | (052) (571) 6451 | 福岡営業所 | (092) (411) 9201 |
| さいたま営業所 | (048) (777) 4801 | 名古屋営業所 | (052) (571) 6451 | 北九州営業所 | (093) (551) 3481 |
| 川越営業所 | (049) (222) 2512 | 一宮営業所 | (0586) (75) 5382 | 飯塚営業所 | (0948) (26) 3361 |
| 熊谷営業所 | (048) (521) 4647 | 東名古屋営業所 | (0561) (73) 0072 | 久留米営業所 | (0942) (43) 2441 |
| 越谷営業所 | (0489) (76) 6155 | 知多営業所 | (0569) (48) 8470 | 佐賀営業所 | (0952) (30) 6603 |
| 前橋営業所 | (027) (232) 5575 | 岡崎営業所 | (0564) (22) 2443 | 長崎営業所 | (095) (882) 6112 |
| 高崎営業所 | (027) (365) 3688 | 豊橋営業所 | (0532) (46) 9117 | 佐世保営業所 | (0956) (33) 4991 |
| 両毛営業所 | (0276) (46) 7661 | 四日市営業所 | (0593) (51) 0727 | 熊本支店 | (096) (389) 4300 |
| 千葉支店 | (043) (231) 5521 | 津営業所 | (059) (232) 2446 | 熊本営業所 | (096) (389) 4300 |
| 千葉営業所 | (043) (231) 5521 | 伊勢営業所 | (0596) (36) 3210 | 八代営業所 | (0965) (43) 1000 |
| 市川営業所 | (047) (328) 1554 | 京都支店 | (075) (621) 1135 | 大分営業所 | (097) (567) 3320 |
| 成田営業所 | (0478) (73) 8101 | 京都営業所 | (075) (621) 1135 | 宮崎営業所 | (0985) (26) 1236 |
| 木更津営業所 | (0438) (23) 2908 | 福山営業所 | (0773) (23) 7733 | 鹿児島営業所 | (099) (267) 5234 |
| 柏営業所 | (04) (7175) 0411 | 大津営業所 | (077) (545) 5594 | 大阪支店の橋をご覧ください。 | |
| 東京支店 | (03) (3816) 1141 | 彦根営業所 | (0749) (22) 6184 | | |
| 東京営業所 | (03) (3816) 1141 | 大阪支店 | (06) (6351) 8771 | | |
| 中野営業所 | (03) (3337) 8431 | 大阪営業所 | (06) (6351) 8771 | | |